

元吉原地区まちづくりニュース 第5号



発行日：平成 29 年 3 月 8 日 発行：元吉原地区まちづくり計画検討会
(事務局：富士市役所都市計画課)

〇これまでの振り返り

日ごとに暖かくなり、すっかり春らしい陽気となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？さて、平成 28 年 5 月 26 日からスタートした検討会も、平成 29 年 2 月 10 日に開催された第 7 回をもって終了しました。本検討会のまちづくりニュースの最終号の発行にあたり、これまでの検討会の取組について報告します。

第 2 回検討会では、元吉原地区を見つめ直していただき、まちづくりの課題を検討しました。

第 3 回検討会では、課題を踏まえながら、まちづくりの方針や基本的な方向性について検討しました。その結果、まちづくりの新たな考え方として「安全・安心の確保（防災と減災、事前復興）」と「少子高齢化への対応（子育て支援、高齢者支援）」が示されました。

第 4 回・第 5 回検討会では、「安全・安心の確保（防災と減災、事前復興）」に着眼し、検討会を「復興まちづくり訓練」と位置づけ、「復興に向けた事前の取組」や「被害を最小限に食い止めるための取組」について、重点的に検討を行いました。

第 6 回・第 7 回検討会では、第 5 回検討会までの結果を踏まえ、まちづくりの実現に向けた具体的な取組や行動（アクション）、まちづくりの推進体制について検討を行いました。

これまでの検討会において、委員の皆さんから多くの貴重な意見・アイデアをいただくことができました。「改定 元吉原地区まちづくり計画」の策定まであと一歩のところまで来ています！

〇最後のまちづくり計画検討会を開催しました！

第 7 回検討会では、前回までの検討会の結果を踏まえつつ、まちづくりの実現に向けた「具体的な取組（案）」、「実施主体（案）」及び「実現時期（案）」について確認し、このうち「具体的な取組（案）」について、検討会として合意形成を図りました。

また、今後「具体的な取組」を進めるにあたって、「何をやるべきか？」「何ができそうか？」という視点で「アクション（具体的な行動）」について検討しました。

皆さん、1年間ありがとうございました！



◆今後のまちづくりの推進体制について

検討会では、「改定 元吉原地区まちづくり計画」策定後、具体的なまちづくりを進めるための体制について確認を行いました。

今後、本計画に基づくまちづくり活動は、まちづくり協議会を中心に進めます。必要に応じて、地区の皆さんや事業者・NPOなどからなるプロジェクトチームや作業部会を設け、取組を推進していきます。

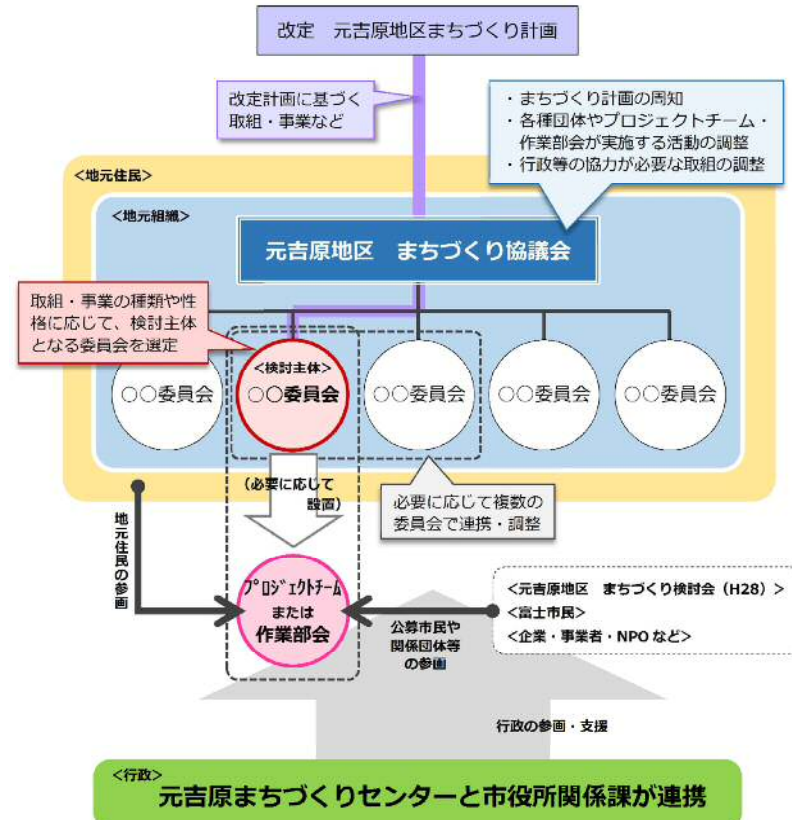


図. 今後のまちづくりの推進体制（イメージ）

◆鈴木会長より…



検討会はこれで終了となりますが、まちづくりはこれからが本番です。検討会で示されたアイデアをもとに、住民の皆さんが互いに協力して知恵を出し合えば、まちづくりは必ず動きます。
「元吉原に住んで良かった！」と誇れるようなまちづくりを進めるために、今後とも地区の皆様のご協力をお願いします。

★住民の皆さんへ…

今回をもって、「まちづくり計画検討会」における協議・検討は終了しました。現在、「改定 元吉原地区まちづくり計画書」のとりまとめ作業を行っていますので、4月下旬には、すべての世帯に計画書（パンフレット）を配布させていただきます。これからも、引き続き元吉原地区のまちづくりに、ご理解・ご協力をお願いいたします。

富士市役所 都市整備部 都市計画課
電話：55-2786 F A X：51-0475 Mail：toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp



◆短期的取組に関する、今後の“アクション(具体的な行動)”について

将来像	まちづくりの方針	具体的な取組 (短期の実現を目指す取組)
みんなのでつくろう 住みたい・訪れてみたい魅力あるまち 元吉原	【安全・安心の確保】 地震や津波、大雨などへの備えを充実し“自然災害に強い安全・安心なまち”をつくる	備蓄倉庫の確保
		住宅等建築物の安全確保(耐震化・家具の固定など)
		避難訓練の充実化(避難経路・防災資機材・地域の災害リスクの確認)
		自主防災組織の強化
		情報伝達手段の拡充(防災ラジオの広域化・防災メールのPR)
		復興まちづくりを担う組織の明確化
	【少子高齢化への対応】 少子高齢化に対応した“子どもやお年寄りが安心して住み続けられるまち”をつくる	学校と地域の連携強化
		子ども・若者への見守り・声かけ運動の実施
		地区文化祭(福祉体験や昔の遊び体験など)の充実化
	【生活・交流基盤の維持・再生】 住む人にも来る人にも便利で快適な“暮らしやすく訪れやすいまち”をつくる	高齢者への見守り・声かけ運動の実施
		地区内に防犯看板、交通安全看板を設置
		落書きやゴミ・犬の糞の放置などを防止するため、啓発看板の設置と定期的な海岸等の清掃を実施
ゴミステーション周辺の清掃		
富士山の景観スポットの整備		
【自然・歴史の活用】 豊かな自然とロマンあふれる歴史を活かした“個性あふれる魅力的なまち”をつくる	安心して気軽に利用できる公園の整備と定期的な清掃を実施	
	公共交通・コミュニティ交通の充実化	
	沼川の拠点づくりと保全	
	浮島ヶ原自然公園の保全	
	松林の保全	
	潮土手の再生と活用	
	沼川を桜の名所としての活用	
浮島ヶ原の自然に親しむ場の活用		
【地域コミュニティの活性化】 地区の特性を活かしたイベントや情報発信等を充実し“多くの出会いとふれあいのあるまち”をつくる	富士塚の再整備・活用	
	毘沙門天を地域のシンボルとして活用	
	地域や住民のニーズにあった多世代交流型イベントの開催・充実	
	まちづくりセンターなど公共施設の機能維持・充実(娯楽要素など)	
	まちづくりニュースやSNSを活用した情報発信	
	富士塚や登山ルート3776のPR	
	サイクリングコース・ハイキングコース・富士山景観スポットの設定	
	元吉原の地区資産やイベントなどのPRを行う(報道提供・SNS等)	

“アクション(具体的な行動)”って、何ですか？



“アクション(具体的な行動)”とは、まちづくりの第一歩として、「明日からでもできそうなこと」など、動きが見える取組のことをいいます。

今後の“アクション”(第7回検討会において出された意見)

備蓄状況の点検・確認、空き倉庫の利用、備蓄場所や備蓄内容の打合せ など
古い家の見回り、話し合い、耐震化把握のためのアンケート、家具固定講習会の開催 など
まずは参加、他町内の訓練内容の確認、自主防災会での打合せ、相談募集 など
具体的な役割の分担、避難ルート図の作成、消防団の拡充、消防団との定期的な訓練の実施 など
アンテナ設置、防災ラジオ・携帯トランシーバーの配布、SNSによる災害情報発信、発災時を想定した訓練 など
子どもを持つ家庭と話し合う場の設定(悩み事)、小・中学校の授業のオープン日の設定(一般の人の参加)、子どもたちの参考となる古本の提供(廃品回収時) など
ラジオ体操への参加、ベンチの設置、元吉原おじさんシールの作成、小・中学校グラウンドのオープン化、ボランティア募集、あいさつの励行、子どもたちへの声かけ(登下校時など)、子ども見守り隊の結成 など
歴史探索ウォーキングの実施、吉原駅や東田子の浦駅に歴史散策パンフレットを設置、場所づくり など
一人暮らしの高齢者の把握、相乗りカー、あいさつの励行、高齢者のみの家に旗、場所づくり など
公会堂の看板を使ってPR、区内パトロールで危険箇所認知、設置場所を協力してくれる家の確認 など
町内会による清掃 など
ゴミステーション周辺の清掃、立木の枝払い・周囲の雑草の刈り取りを定期化、当番制にする など
景観スポットを探す、富士山の景観スポット写真集の作成、良好な景観の写真を募集 など
利用者がすぐに使える清掃器具の設置 など
小型バスの運用 など
沼川に関わるイベントのPR など
定期的な草刈り・清掃、ボランティアを募集して草刈り・清掃 など
自然・歴史を活かしたイベント、SNSでアピール、周遊的観光遊び、野外コンサート、毘沙門天の観光化、犬のフンの処理 など
体育祭の中に、昔の遊びやみんなが参加できるゲームを増やす、町内会でのバーベキュー大会 など
まちづくりセンター365日オープン、各種特技を持った人を選抜する など
SNS・フェイスブック・ツイッターなどの活用、元吉原地区のHP作成、地区をPRしたい施設の洗い出し など
富士塚へのトイレの設置 など
ロジ(路地)ッキングコースを作る、サイクリストへのアンケート、おすすめコースのリストアップ、実走確認 など
駅などオリジナルのパンフレット作成 など

